北九州支部総会報告



　9月9日ステーションホテル小倉にて、平成30年度北九州支部総会を開催致しました。

大学からは森内教授と飯塚教授にお越しいただき、森内教授からは大学の現状報告・飯塚教授からは漢方の話を賜りました。

支部役員、そして1年生の保護者2名にお手伝いいただき無事に総会と懇親会を終了できましたことを、ここにご報告致します。

　　　　　　　　　ありがとうございました。

参加者46名（内　学生3名）

総会の部

（１）開会の挨拶

（２）支部長挨拶

（３）後援会と支部の役員紹介

（４）支部長選出

（５）平成29年度の会計報告、及び決算報告

（６）質疑応答

以上、承認をいただきました。

森内教授より、現在の大学状況やカリキュラム内容の説明がありました。

第一薬科大学には、アドバイザールームがあり物理・科学・生物の先生が常駐しておられ、学生にとって勉強しやすい環境が整っているとの紹介がありました。

授業を受け解からないことは、その日のうちに解決し理解することが重要であること。

学習習慣を身につける方法として、通学時間を利用し、録音した内容を耳から学習すること。また、1日の勉強時間にも言及され、1年生～3年生は4時間、4年生～6年生は最低でも6時間必要なことなど、具体的な学習方法のお話がありました。

また、学生の日常生活においての苦言として、本校の学生は挨拶ができないとの指摘がありました。挨拶は日常生活の上で基本動作であり、5年生の実務実習時にも影響するので指導していきたいとの話がありました。

飯塚教授より、「漢方薬について」と題し

①漢方薬とは？②漢方薬と生薬製剤の違い③医療用漢方薬の処方や五行の相生・相克など分かりやすく話していただきました。まさに目からウロコの様なお話がありました。例えば一般的に食前や食間に服用するとされている漢方薬も、実は食後の方が望ましいものもある。など、保護者からは「勉強になった」「今日、まさかここで漢方の勉強ができるとは思わなかった」と、喜びの声を多くいただきました。

懇親会の部

更に親睦を深めていただくために、新しい試みとしてビュッフェスタイルの立食、一時間後に着席していただく方法を取ってみました。また、懇親会中に「現役薬剤師のトークタイム」を設け、第一薬科大学34期生の岩武博之先生と22期生の土田由美子先生にフリートークをしていただきました。

岩武先生は、薬剤師という職業を選択した動機として、ご自身の5年間の闘病生活をお話され、手に職を持つ事の大切さに気付きこの職業を選んだことや、薬局で経験した医療事故で係争となったものの、無事解決したご経験等をご自身の言葉で心をこめて話していただき、出席者に大きな感動を呼びました。

また、土田先生は後援会の会員でもあることから、母として先輩薬剤師としてメンタルでくじけそうになった時、多くの卒業生を輩出している第一薬科大学の先輩を頼ってほしいこと、薬剤師の免許があれば一旦薬剤師の仕事を離れてもまた薬剤師の仕事が見つかること。

気持ちの切り替え方などとても参考になるお話をいただきました。

先生方のお話の中で共通して言えることは、薬剤師の資格の重さや薬剤師になって良かったとの素直な感想を吐露されたことで、出席者に大きな感動を呼び起こしたことではないでしょうか。

今回の懇親会において、森内先生と飯塚先生には、各テーブルを回っていただき、多くの父兄の方々との懇親の機会を多く持っていただいたことに、感謝申し上げます。

本年度より、本部役員の他支部視察が始まり、南九州支部より中島美穂子さまにご出席いただきました。「北九州支部は元気が良い」との感想をいただきました。



